

## 佐世保共済病院 後期研修プログラム概要

佐世保共済病院のシニアレジデント研修プログラムは、5つの診療科で後期研修を行います。いずれも、2年間の初期臨床研修を修了した医師を対象としており、ローテーションを含めて幅広い研修が可能です。

目的	専門的な能力を有する指導医の下で豊富な症例を経験し、優れた臨床能力と人間性をもつ医師を養成すること
研修期間	原則として3年間とする。
研修内容	<p>研修コースは(1)外科、(2)整形外科、(3)産婦人科 (4)麻酔科、(5)泌尿器科の5つの診療科で研修を行う。</p> <p>※希望した診療科でのストレートプログラムを基本とするが、各人の希望をもとに一部期間を他科での研修も可能であり、個別のスケジュールについては臨床研修委員会で調整する。</p> <p>※また希望により佐世保米海軍診療所において、合同カンファランス等に参加することができる。</p>
募集人員	若干名
処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身分:佐世保共済病院 常勤医師(健保職員)</li> <li>● 給与:国家公務員共済組合連合会給与規程に準じる (基本給は免許取得年により決定)</li> <li>● 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険加入</li> <li>● 勤務時間 : 8:30 ~ 17:30</li> <li>● 有給休暇 :6ヶ月以内1ヶ月につき1日 :6ヵ月以降は10日間</li> <li>● 休暇:夏季、年末年始、創立記念日</li> <li>● 医局有、当直室有、宿舎は原則として当院で手配</li> <li>● 福利厚生:各種施設優待券あり</li> <li>● 健康管理:年2回健康診断実施</li> <li>● 学会・研究会への参加旅費:有(旅費規程による)</li> </ul>
提出書類	<p>i)履歴書…市販用紙を用い、写真を添付すること</p> <p>ii)「医師免許証」の写し</p> <p>iii)「臨床研修修了証」の写し</p>
採用予定日	原則として毎年4月1日
選考方法	面接、口頭試問など

## 国内留学制度

概 要	<p>本院の組織基盤である国家公務員共済組合連合会は全国に数多くの研修病院を有するが、そのうち後期研修(シニアレジデント)プログラムとして適合する以下の病院への国内留学が可能である。各病院各診療科のプログラム内容および指導医等については各病院のホームページを参照のこと。なお、国内留学の希望は採用後6ヶ月を経た1年次後半、2年次、3年次に可能であり、あらかじめ希望を医学教育部に提出の上、協議される。その後、連合会病院マッチング委員会に付託され、受け入れ病院の合意を得て決定される。後述の如く、当院も他病院からの留学研修医を受け入れる。</p>
受 入 病 院	<p>※国家公務員共済組合連合会の系列病院          KKR 札幌医療センター・KKR 札幌医療センター斗南病院・東北公済病院・東北公済病院宮城野分院・水府病院・立川病院・九段坂病院・虎の門病院・虎の門分院・三宿病院・東京共済病院・横浜南共済病院・横浜栄共済病院・横須賀共済病院・平塚共済病院・北陸病院・名城病院・東海病院・牧方公済病院・大手前病院・六甲病院・舞鶴共済・舞鶴子ども療育センター・広島記念病院・吉島病院・呉共済病院・呉共済病院忠海分院・高松病院・新小倉病院・千早病院・浜の町病院・新別府病院・熊本中央病院</p>
骨 子	<p>a. 専門制を重視した幅広い臨床能力を養うことを目的とし、専門科研修の前段階研修と位置付ける。</p> <p>b. 研修医は、各病院の募集要項に示されたプログラムに則り研修を受ける。</p> <p>c. 留学制度での研修は1年次後半、2年次、3年次のいずれかとし、1単位3ヶ月、2年6ヶ月の中で合計6ヶ月を限度とする。なお、同一病院、同一診療科での重複が可能であり、それらは募集要項に明示される。</p> <p>d. 応募病院については、第1～3希望まで提出可能である。なお、研修医の重複などで研修効率が低下しないようどの期間に研修するかは両病院の後期臨床研修委員会で相互に調整する。</p> <p>e. 不採用となった場合は、当該年度は自院で研修する。</p>

その他資料等問い合わせ先

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号

国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 総務課 田淵 賢太郎

電話:(0956)22-5136 FAX:(0956)25-0662

e-mail: [soumu@kkr.sasebo.nagasaki.jp](mailto:soumu@kkr.sasebo.nagasaki.jp)

## 外科 後期研修案内

### 1. 研修内容

学会所定の修練カリキュラムに従い、外科専門医取得に必要な症例を研修します。期間中は研修医の指導を担当しつつ、自身の知識・技術を磨く臨床経験を積むことができます。

また研修中に手術難易度・到達度別必須症例及び必須主要手術の術者としての規定例数の経験を積むことができるよう研修を行い、外科に必要な局所解剖、病理・腫瘍学、病態生理、輸液・輸血、血液凝固と線溶現象、栄養・代謝学、感染症、免疫学、創傷治癒、術後疼痛管理を含む周術期管理、麻酔科学、集中治療、救命・救急医療(外傷・熱傷)などの基礎的知識や外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技などの技能および態度を修得することができます。

### 2. 関連学会認定施設 指定

専門医などの取得するために必要な学会認定施設になっている。

日本外科学会外科専門医制度修練施設・日本消化器外科学会専門医修練施設・  
関連 11 学会認定ステントグラフト実施施設

### 3. 医師名

診療部長	井原 司	S59 卒	日本外科学会認定医及び専門医及び指導医・日本消化器外科学会専門医及び認定医、消化器がん外科治療認定医
外科顧問	松永 章	S39 卒	日本外科学会専門医及び指導医・日本消化器病学会専門医・日本消化器外科学会認定医及び指導医
乳腺外科部長	原田 洋	H6 卒	日本外科学会認定医
内視鏡室部長・急患室部長	富崎 真一	H4 卒	日本外科学会専門医
血管外科医長	三笠 圭太	H13 卒	日本外科学会専門医
医員	佐藤 寿洋	H15 卒	日本外科学会専門医・がん治療認定医機構がん治療認定医・マンモグラフィ読影認定医
医員	片桐 光浩	H21 卒	
医員	下村 晋	H21 卒	

### 4. 主要手術件数

(単位:件)

疾患名	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
大腸癌	53	46	61
胃癌	24	22	49
乳癌	21	21	32
肺癌	11	8	3
肝癌	29	23	17
膵、胆道癌	13	15	11
ヘルニア	92	88	82
胆石症	53	81	73
血管疾患	37	51	64
救急疾患(虫垂炎含む)	63	60	68
その他	72	156	136
全手術症例	468	571	596

問合せ先: 井原 司 (診療部長)

## 整形外科 後期研修案内

### 1. 概要

- 医師数 8 名(うち日本整形外科学会専門医 5 名)
- 1 日平均患者数 : 入院 70.6 人 外来 77.9 人(平成 24 年度)

当院、整形外科は昭和 27 年の開設以来九州大学整形外科教室の関連病院として運営されてきている。骨折・外傷・靭帯再建を含むスポーツ整形外科、人工関節、脊椎外科、手の外科、関節リウマチ、腫瘍など多岐に渡る専門分野を診療対象としている。

2 次救急基幹病院として 24 時間救急体制のもとにあるので、特に高齢者大腿骨近位部骨折をはじめとする骨折・外傷が多いことが特徴である。従って病院規模に対して手術数が多いこともさることながら、術後リハビリテーションにも力を注いでおり当院で開発した流水機能プールを活用しながら 6 名の理学療法士はフル活動している。

一方常勤専門医はそれぞれの専門分野別に分化した診療活動を行っており、関節形成術、人工関節置換術、靭帯再建術、脊椎外科、手の外科、リウマチ手術、骨軟部腫瘍学など専門性の高い研修が可能である。(表2)研修医も学会発表を少なくとも年 1 回は行うことが義務となっている。

骨折・外傷を中心に対する理解が充分になり次第、主治医執刀による手術を行っており、3～5年目医師の年間執刀数は100～150例である。その特徴として当院は co-medical staff が大変協力的であり、家族的な職場の雰囲気と相俟って働きやすい病院として研修医の満足度が高い。

### 2. 当科が所属している整形外科専門学科医

日本整形外科学会・日本膝関節学会・日本股関節学会・日本骨折治療学会・日本関節鏡学会・  
日本人工関節学会・日本脊椎外科学会・日本手の外科学会・日本リウマチ学会

### 3. 年間手術内訳

(単位:件)

主な手術	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
大腿骨近位部骨折	133	124	154
骨折・脱臼	259	276	274
その他外傷	31	29	52
THA&TKA	51	69	80
関節形成	7	7	7
関節鏡視下手術	33	71	61
その他関節	20	29	8
脊椎	35	34	42
骨軟部腫瘍	47	37	29
神経・軟部組織	16	50	12
その他	43	0	28
手術症例合計	675	726	747

問合せ先 : 萩原 博嗣 (副院長)

## 産婦人科 後期研修案内

### 1. 到達目標

当院産婦人科で研修となる診療対象は、

- ① 良性の婦人科一般腫瘍および一般疾患の診断と治療
- ② 手術から化学療法・放射線療法と術後療法まで学ぶことが可能な悪性腫瘍部門
- ③ 正常分娩および小児科とのネットワークにより多胎妊娠、早産に対応できる周産期医療部門
- ④ 腹腔鏡手術をはじめとし、不妊治療を含めた生殖医療部門
- ⑤ 二次救急基幹病院として、24時間救急体制の元であり、産婦人科領域の救急疾患への対応以上、すべての専門分野が対象となります。

後期研修医は、これらの多岐にわたる症例を、外来診断から入院、手術執刀、術後病棟管理、再度外来管理へと一連の流れとして自分の責任の下、実施します。5年間に十分な症例数と指導を受け、産婦人科専門医の受験資格を得ることが目標となります。

### 2. 医師名

院長	木寺 義郎	S45年卒	日本産科婦人科学会産婦人科専門医・日本臨床細胞診学会細胞診専門医・日本婦人科腫瘍学会専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
産婦人科部長	鶴地 伸宏	S59年卒	日本産科婦人科学会産婦人科専門医・日本臨床細胞学会細胞診専門医・日本婦人科腫瘍学会専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
周産期部長	木下 秀一郎	S62年卒	日本産科婦人科学会産婦人科専門医
婦人科部長	松隈 敬太	S48年卒	日本産科婦人科学会産婦人科専門医・日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・日本臨床細胞学会細胞診専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医員	二尾 愛	H21年卒	
医員	大塚 純一	H22年卒	

### 3. 週間予定

外来担当	: 毎日午前中、週3~4日(産科1日、婦人科2~3日)
カンファ	: 毎週水曜日8時15分より周産期ミーティング 毎週木曜日8時15分より婦人科カンファレンス
手術	: 月・火・水:午前~開始、木・金:午後~開始
学会出張	: 希望あれば1年2回まで

### 4. 診療実績(平成24年)

年間外来患者数	: 13,239人 (1日当たり平均外来患者数:53.6名)
年間外来新患者数	: 1,855人
年間入院患者数	: 11,178人 (1日当たり平均入院患者数:30.5名)
年間分娩数	: 291例
年間帝王切開手術数	: 76例(手術時には小児科医の立会いあり)

5. 産婦人科臨床統計:入院手術症例

(単位:件)

	主な手術	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
子宮疾患	子宮筋腫	94	93	81
	子宮腺筋症	9	16	17
	子宮頸部中等度異形成	11	9	7
	子宮頸部高度上皮内癌	49	64	55
	(明らかな上皮内癌)	(7)	(10)	(10)
	子宮頸がん(微小浸潤癌以上)手術	26	20	14
	子宮内膜増殖症	2	2	12
	子宮体癌	14	11	14
付属器疾患	良性卵巣腫瘍	91	96	90
	悪性卵巣腫瘍	10	18	23
膣・外陰部腫瘍		3	2	4
その他	性器脱	21	37	26
	絨毛性疾患	3	3	1
	子宮外妊娠	9	14	11

それぞれの専門分野には専門医がおり、手技だけではなく、理論から学ぶことが可能です。また最近、糖尿病など内科疾患合併の妊産婦や、高齢初産婦の増加などで早産などのハイリスク分娩なども増加しております。当科では内科、小児科など他科との連携も良好で、全科的に対応できます。

このような領域を越えた医療の経験を積むことが、後期研修として自分の進むべき専門分野を決定するうえで、重要で役に立つことと思われまます。

是非、一度当病院に見学に来て頂いて、研修病院として決めていただきたいと思います。

問合せ先 : 木寺 義郎(院長)

## 麻酔科 後期研修医案内

### 1. 麻酔科後期研修内容

#### ①到達目標

周術期における生体管理を中心として、医療の基本となる呼吸・循環管理、疼痛管理能力を身につける事を目標とする。

#### ②研修内容

- 1) 麻酔科外来においての術前診察で患者さんの全身評価を系統的に行い、問題点の把握と術中術後管理の計画ができる。
- 2) 確実な気道確保が施行できる(マスク換気からファイバー挿管まで)。
- 3) 観血的動脈、中心静脈、肺動脈カテーテルを挿入し、測定結果を循環管理に応用できる。
- 4) 各種循環作動薬を理解し、使用できる。
- 5) 神経ブロックや鎮痛剤を理解し術中術後の疼痛管理に応用できる。
- 6) 患者さんの痛みを理解し、緩和ケアチームの一員として接することが出来る。
- 7) 臨床研究の計画、実行に携わり、学術発表する。

### 2. 取得できる認定資格

- ①麻酔科標榜医:2年間の麻酔科研修、厚生労働省が実施する書類審査
- ②麻酔科認定医:日本麻酔科学会に所属後2年以上
- ③麻酔科専門医:認定医として2年以上麻酔科関連業務に専従
- ④麻酔科指導医:専門医取得後5年以上

### 3. 研修期間

1年間以上、延長可。出来れば麻酔科標榜医取得まで

### 4. 指導責任者

深野 拓 ・ 木本 文子

### 5. その他

佐世保共済病院手術室では年間約3,500症例が行われており、うち1,500症例を麻酔科が管理しています(常勤3名、非常勤3名)。開心術、脳外科手術以外はすべて研修可能です。午前中は主に麻酔科外来にて術前診察、疼痛・緩和治療、術前硬膜外留置などを行い、午後から麻酔管理業務となります。ICUはありませんがHCUにて垣根の低い各科の医師たちと協力して重症患者さんの治療も行っています。もし基礎研究を希望されるときには九州大学、長崎大学での研修も可能です。美しい天然の西海国立公園を満喫できる佐世保の地で、気さくで心やさしい看護師さんを始めメディカルの方々と一緒に働いてみませんか？病院の裏は佐世保一の繁華街です。

問合せ先 : 深野 拓 (麻酔科部長)

## 泌尿器科 後期研修医案内

### 1. 泌尿器科概要

当院では地域と連携して、泌尿器科一般の疾患（悪性腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石、尿路感染症など）への治療【手術、化学療法、結石治療（内視鏡、体外衝撃波）】が行われています。特に結石治療は長崎県北地域の中心であり、経尿道的尿路結石除去術を年間約 150～200 例近く行っています。泌尿器科一般の基本的知識や治療技術習得が可能です。

### 2. 医師名

診療部長	山田 潤	S52 年卒	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医及び指導医
部長	江口 二郎	S60 年卒	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医及び指導医
医長	中村 貴生	H8 年卒	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医及び指導医

### 3. 週間予定

外来;1日2診

カンファ;毎週水曜朝8時

手術、諸検査;毎日(月～金)

学会出張;希望あれば適宜可能。

### 4. 診療実績(平成24年度)

年間外来患者数 : 10,406 人 (1日当たり平均外来患者数:42.6名)

年間外来新患者数 : 1,089 人

年間入院患者数 : 8,512 人 (1日当たり平均入院患者数:23.3名)

### 5. 主な疾患の入院数

(単位:件)

主な疾患の入院数	平成21年度	平成22年度	平成23年度
前立腺癌	38	34	35
腎癌	15	6	12
腎盂尿管癌	11	20	33
膀胱癌	71	99	85
精巣癌	5	2	1
前立腺肥大症	22	21	11
腎・尿管結石	249	223	256
膀胱結石	8	16	27
その他	276	258	245
合計	695	679	705



## 6. 主な手術症例数

(単位:件)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
前立腺全摘除術	13	17	12
腎摘出術	10	5	6
腎尿管全摘出術	7	12	8
膀胱全摘・尿路変更	2	4	3
経尿道的膀胱腫瘍切除術	50	70	81
経尿道的前立腺切除術	20	20	13
体外衝撃波結石破碎術	112	57	34
経皮的尿路結石除去術	5	9	15
経尿道的尿路結石除去術	157	170	213
膀胱碎石	8	12	29
尿管ステント留置	40	33	95
尿管ステント抜去	169	151	184
その他	112	83	68
合計	705	643	761

  

前立腺生検	160	163	119
-------	-----	-----	-----

現在3人で業務を行っていますが、朝から夕方(時に夜まで)まで、各自がみっちりとしたスケジュールで働いています。おそらく一般泌尿器科医の実際の毎日を体験、習得するには非常に有意義で実践的な研修病院と考えています。興味のある研修医の方はご検討ください。

問合せ先 : 山田 潤 (診療部長)